

専門と上級の作業療法コンピテンシー

Position Statement on Specialisation and Advanced Occupational Therapy Competencies 2014

### この文書の目的の概説

この声明書は、世界の作業療法士による安全で有能な実践を確実にすることに WFOT が焦点を当てるとのこと、実践の上級及び専門レベルを示すものである。

この声明書は、WFOT の作業療法士教育最低基準を反映させたものである。資格取得レベルのコンピテンシー、コンピテンシーとコンピテンシーの維持、実践の視野と範囲という WFOT の声明書にも基づいている。

この声明は、WFOT の会員協会におけるスペシャリストのコンピテンシーの2つの調査から作成されたもので、多くの会員協会が上級レベルのコンピテンシーを認めるための構造を持っているが、ほとんどの協会や国は、上級レベルのコンピテンシーを認めていないし、そのシステムをもっていないということも考慮している。

### とりうるポジションについての声明

WFOT は、自国における作業療法の上級あるいは専門化されたコンピテンシーを認める会員国は、こうした実践のレベルを承認する場所での構造をもたなければならない。こうした構造には、上級あるいはスペシャリストの地位を得るための必要事項と、承認プロセスを含むべきであり、更新のためのプロセスも含むべきである。

WFOT は次のような構造を提案し、5項目すべての要素に合致すべきであると助言する。

1. 候補者は、作業療法士として認知されていなければならない、各国で必要な資格をもっており、国及び地方の作業療法協会の会員でなければならない。
2. 最低3年間の経験があり、その内の半分以上は専門領域あるいは上級の実践を行った経験をもつ。
3. 修士レベルの資格がある：
  - 作業療法修士号
  - 一般的な修士号、教育コースからの作業療法の内容についての認められた時間やポイント
4. 指導者としての教育、指導されながらの実践、他者への指導経験を含む構造化された臨床指導プログラムがある。
5. プロフェッショナルプロフィールと納得できるコンピテンシー(知識、技能、態度)
  - 専門的あるいは科学的記事の執筆
  - 学会での発表
  - 職場での改革やイニシアティブ;専門能力開発(professional development)

各会員協会のための構造の要素は、地方の状況で構築されなければならない。会員国は別の協会からシステムを適用するが、特定の要素はその地方の状況に沿うよう適応させなければならない。その国の作業療法サービスの必要性を考慮する。

### 作業療法にとってのポジションの重要性についての声明

この声明書は、資格取得レベルのコンピテンシーを超えたスペシャリストのコンピテンシーについてのガイドラインを求める声に対応するものである。

作業療法の上級レベルのコンピテンシーは、作業療法士が作業療法の専門領域において実践するための技能、知識、態度をもっていると考えられることを必要とする。

作業療法士のための声明書は、資格取得レベルのコンピテンシーを超えて専門性について情報をもたらす。専門的トレーニングレベルの後に異なる実践場面におけるコンピテンシーのための必要事項を定義することとなる。グローバル化する作業療法世界において、WFOT 会員国における上級レベルと専門レベルを認め、水準を決めるというポジションをとる。

### 社会にとっての重要性についての声明

WFOT は、作業療法士が変化する環境や、臨床実践や公衆衛生における新たな要求に、有能に対応することを推奨する。

作業療法士は、入院期間の短縮、在宅や地域での健康サービスといったヘルスケアの傾向に対応する上で、より関連深く焦点を当てた実践を行うという要求にこたえている。コミュニティにおいて、公衆衛生や予防サービスは、作業療法サービスがよりインクルーシブな社会を発展させ、そのための変化を起こす主

<https://www.wfot.org/resources/specialisation-and-advanced-occupational-therapy-competencies> (2019年11月22日 吉川ひろみ・訳)

体となるよう求めつつある。

スペシャリストと上級レベルのコンピテンシーをもつ作業療法士がいることは、サービスの質を高め持続可能性を広げる。有効で継続的な人中心のサービスは、関連深い専門的で上級レベルの作業療法が提供されることを通して、無駄を最小限にすることを確実にする。

### チャレンジとストラテジー

重要なチャレンジは、そのコンピテンシーを充足する会員協会の能力である。特に修士号とすることや更なる教育が必要となることはチャレンジである。これを克服するストラテジーには、オンラインで学位を取得するコースや他の国の修士課程と連携することが含まれる。

会員国のそのほかのチャレンジは、応募者や候補者を承認するために必要なプロセスや手続きである。ここでこのストラテジーには、WFOT 地方グループといった各会員協会の中で、熟練技能を使ってプロセスを進めるために一緒にグループとなって取り組むことが含まれる。

会員協会で強調される必要があるかもしれない更なるチャレンジには、上級や専門レベルの制度化や基準化にともなう法的必要要件がある。

### 結論

上級化および専門化された実践は世界変革において重要である。作業療法実践が適合し持続可能であることを確実にするための上級化と専門化のためのコンピテンシーをもつことが重要である。

作業療法士が実践のコンピテンシーを維持することを確実にするために、WFOT は作業療法の上級化と専門化のコンピテンシーが実践のレベルで承認されることによって構造化されなければならないということをもとの会員協会もが認識するというポジションをとる。

### 文献

1. WFOT (2002). Minimum Standards for the Education of Occupational Therapists. WFOT [www.wfot.org](http://www.wfot.org)
  2. Specialist Application, Danish Association of Occupational Therapists [www.etf.dk](http://www.etf.dk)
  3. The Norwegian Association of Occupational Therapists: Ergoterapeutenes Spesialistordning (2014) <http://www.ergoterapeutene.org>
  4. Canadian Association CAOT [www.caot.ca](http://www.caot.ca)
  5. Occupational Therapy Competencies AOTI Project Office 2008
- NB All references to be checked